

【2月17日（月）朝礼の話】

＜山内賞授与式＞

今、6年生に山内賞を渡しました。毎年この時期に行われている「山内賞授与式」ですが、特に1年生の皆さんは、「山内賞ってなに？」っと思っていると思います。校長先生から山内賞について、お話をします。

今から143年前、1877（明治10）年に、現在の池西に「山内慶次（やまうちけいじ）」さんという方が生まれました。

その頃の日本は大変貧しく、農家では男の子は田んぼや畑の力仕事に、女の子は弟や妹、赤ちゃんのお世話をしなければならず、みんなのように毎日学校へ通うことが難しい次期でした。学校にはお金持ちの一部の人しか通えませんでした。

山内さんは、なかなか学校に行きたくても行けない厳しい環境の中で、当時の「尋常小学草平学校」に通い、苦勞して勉強し、卒業しました。その後30歳の時にメキシコへ、さらにアメリカのロスアンゼルスに移住し、一生懸命努力し、自分で農業経営をするまでになり成功を収め、その結果たくさんのお金を手にすることができました。

その後日本に戻った山内さんは、生活が苦しく十分に勉強ができなかった自分自身の小学校時代のことを思い、「自分が卒業した草平小学校の子どもたちが、安心して一生懸命に勉強できる環境にしたい」と、1960（昭和35）年山内さんが83歳の時から1967（昭和42）年89歳でこの世を去るまでの8年間にわたり、たくさんのお金をこの草平小学校に寄付されたそうです。その寄付金をもとに、この『山内賞』がつけられました。

また、山内さんが87歳の年の1965（昭和40）年1月に、その偉業をたたえ、池西地区のみなさんが感謝の気持ちを形に残すために、池西地区に記念碑が建てられたそうです。池西の通学団の子たちは、知っていますね？

山内さんが亡くなってから53年が経ちましたが、今もその寄付金から、こうして毎年草平小学校を卒業する6年生に、「山内賞」と書かれた鉛筆が贈られています。すごいことですね。草平小学校を卒業しているみんなのお父さんやお母さん、おじいさんおばあさんも、きっとこの鉛筆をいただいていると思います。

そんな山内さんの想いの詰まった鉛筆を、来月卒業する6年生に贈りました。大切に使ってくださいね。

また、このように地域のために尽くしてくれた偉人がいる草平小学校を誇りに思い、みんなも一生懸命勉強に運動に励んでほしいと思います。

池西地区の6年生の人たちは、3月2日の下校時に、山内さんの記念碑を掃除し、お花を供える活動をします。これも池西地区の先輩から引き継がれた伝統です。よろしくお願ひします。

＜朝礼＞

2月も後半です。1年の締めくくりがしっかりできるように、一日一日を大切にしてお過ごししょう。

先日、令和2年度の前期児童会役員選挙がありました。とてもたくさんの方の立候補があり、4・5年生のやる気を感じました。限られた時間の演説で「どんな草平小学校にしたいのか」「そのためにどんな活動をしたいのか」という内容がきちんと入っていて、どの立候補者の演説も素晴らしいものでした。

また、その立候補者の演説を聞いていた3～5年生の聞く態度も素晴らしかったです。5年生からは、6年生から草平小学校のリーダーを受け継ぐ準備が整ったことが、4年生からは4月から高学年としてがんばろうという気持ちが伝わりました。来年度の草平小学校がとても楽しみです。

今日は吉田先生のお話を聞きます。以上で先生のお話を終わります。